

# 吸血昆虫が媒介するウシの伝染性疾病 の侵入監視の調査を実施しています！

中丹家畜衛生情報（No. 29-14） 6月発行

◎アカバネ病・アイノウイルス感染症・チュウザン病・牛流行熱・イバラキ病は、吸血昆虫(蚊・ヌカカ等)が媒介するウシの伝染性疾病です。

◎全国の家畜保健衛生所が連携し、これらの病気の流行状況を調査しています。京都府でも、毎年4回(6月、8月、9月、11月)、初めて夏を迎える子牛から採血して、抗体価の推移を確認することで、府内への侵入状況の把握に努めていますので、ご協力をお願いします。



【吸血昆虫が媒介する主な疾病】

これらの疾病にはワクチン接種が有効です！

疾病名	アカバネ病	アイノウイルス 感染症	チュウザン病	牛流行熱	イバラキ病
症状	流死産・奇形・仔牛の四肢関節異常・脊椎湾曲・大脳小脳欠損等	流死産・奇形、仔牛の四肢関節異常・脊椎湾曲・大脳欠損等	異常産、仔牛の盲目、神経症状・大脳小脳欠損等	高熱・呼吸促迫・流涎・起立不能等	泡沫性流涎・発熱・咽喉頭麻痺・嚥下障害等
発生時期	8～4月	8～4月	8～4月	8～11月	8～12月
治療法	なし	なし	なし	なし	なし
予防法	牛異常産3種混合不活化ワクチン			牛流行熱ワクチン	イバラキ病ワクチン

◇◇◇◇◇京都府中丹家畜保健衛生所◇◇◇◇◇

住所：福知山市字半田371-2

TEL：0773-25-1860（夜間・休日も転送機能で連絡可能）

FAX：0773-25-1861